

質疑・答弁

決算特別委員会での主な

第3回定例会初日の9月8日、町長から提案された令和元年度城里町決算（7会計）について詳細に審査するため決算特別委員会が設置されました。

決算審査は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審査を行いました。各委員会での質疑・答弁等の主なものは次のとおりです。



総務民生常任委員会の審議状況

総務民生常任委員会

総務民生常任委員会は、会期中の9月9日に委員会を開催し、令和元年度一般会計決算の所管分・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計の決算について審査しました。
審査の結果、委員会の採決は不認定となりました。

歳入

問 町税滞納については、催告状を出しているのか。

答 滞納処理については、納期限を過ぎても納付されないときに督促状を発行し、なおかつ納付・納税の相談が無いときに催告状を出しています。

問 ふるさと応援基金繰入金について、4・5年前は寄付額1億円を目指していたが現在の状況は。

答 寄付額は、平成28年度は5,349万5千円、29・30年度はそれぞれ約660万円であり、令和元年度は510万1千円でした。

問 地方特例交付金の減収補填とは、どんなときに交付されるものなのか。

答 個人住民税減収補填については、住宅借入金等の特例税額に、自動車税

減収補填特例交付金及び軽自動車税減収補填特例交付金については、消費税の引き上げに伴う需要補填として交付されるものです。

歳出

問 ラジオCMによる広報の内容は。

答 小勝中郷団地、那珂西団地、池の内団地の入居者募集や、城里町の子育て支援政策についての広報です。

問 公用自動車等購入で4台購入しているが、車種及びドライブレコーダーの搭載は。

答 四輪駆動の軽自動車2台、軽自動車1台、ワゴン車1台にドライブレコーダーを搭載しました。

問 七会地区一斉放送スピーカーは、どのような機

械か。

答 新しい防災無線の受信機とは全く別の個別受信機で、新規購入は年数件、新しい防災無線に更新されるまでの間、修理のために購入するものです。

問 高齢者運転免許自主返納支援事業について、実績と支給に関して滞納の有無は。

答 実績は75件で、滞納していないことが支給要件となります。

問 観光施設費の備品購入費で、トラクター購入の理由は。

答 うぐいすの里のスポーツトラクター（草刈り機）が古く、故障したため、新しいトラクターを購入したものです。

問 国民健康保険事業費納付金が、当初予算額に対して多額の不用額となっているがなぜか。

答 納付金は医療費のことであり、不用額については、想定より医療費がからなかったために発生しました。

問 生活支援体制整備事業の地域ささえあい協議会の活動内容は。

答 昨年度ボランティアを中心に協議会を立ち上げ、地域の中で要介護状態の人を支え合うためには、何ができるのかを協議しています。

教育産業常任委員会

教育産業常任委員会は、会期中の9月10日に委員会を開催し、令和年度一般会計決算の所管分・公共下水道事業・農業集落排水事業・水道事業会計の決算について審査しました。

審査の結果、委員会の採決は認定となりました。

歳入

問 学校給食費過年度分の収入額が無いがなぜか。

答 過年度分の未納は給食費が無料化になる前に在学していた方分、昨年は滞納者による納入が無かったからです。

歳出

問 新規就農者等支援事業で、新規就農者の人数は。

答 就農計画を立て、町の認定を受けた新規就農者に、国の農業次世代人材投資資金として最大5年間の補助支援をし、町単独事業として年36万円の補助を3年間、現在は3名に交付している。

問 農業政策課所属の地域おこし協力隊の隊員の人数及び業種は。

答 現在の隊員は6名、卒業業者は4名で、業種は畑作、果樹、繁殖和牛となっています。

問 地域おこし協力隊員で、有害鳥獣分野の隊員の活動状況は。

答 3年目になる隊員が、有害鳥獣の捕獲確認と皮加工品の試作等の活動を行っています。

問 山村活性化支援事業で、年間1千万円(3年間で3千万円)かけてし肉の活用のために東京農大と連携し調査研究を行った事業が、最終年度となるが、結果と成果は。

答 しし肉が資源として使えるかを調査し、昨年はイノシンシ利用施設の検討、市場調査、消費者調査、採算のとれる頭数の調査を調査を行ったが、野生イノシンシによる豚ねつ(旧豚コレラ)感染により、今後事業は休止となります。

問 町道除草工事について、幅員等の考え方は。

答 県の除草工事に準じており、幅員70センチメートル、刈り高は地面から5センチメートルです。

問 水戸北スマートインターチェンジ看板設置について、「城里町」の案内看板はどの場所に設置されるのか。

答 常磐自動車道の上下線から、水戸北インターチェンジに降りる手前にある既存の看板等に設置したものです。

問 歴史民俗資料館保存活用計画策定事業で、黒澤止幾生家は保存の考えですすめているのか。

答 今年度、検討委員会を立ち上げ、今後の方向性を検討していきたいと思っています。

問 かつら水処理センター災害復旧について、工事は繰越とあるが、総工費はいくらを予定しているのか。

答 台風19号で被災したかつら水処理センター復旧の工事と設計費用を含め総額3億5千万円を予定しています。



教育産業常任委員会の審議状況